

日本地球電気磁気学会会報 (第23号)

1966年5月6日

日本地球電気磁気学会

事務所 東京都文京区弥生2丁目11番16号
東京大学理学部地球物理学教室内
電話 (812) 2111 内線 6476
振替 東京 4860 番

第39回総会及び講演会について

ここにお届け致しますプログラムに記載してあります通り、第39回総会および講演会を、来る5月23日(月)、24日(火)、25日(水)、26日(木)の4日間、東京大学において開催いたします。会場は東大病院に近い好仁会会議室と薬学部記念講堂(5月26日のみ)とを使いますが、第6面に地図を示してあります通り、両会場はさほど離れてはおりません。今回の学会総会及び講演会場として使われます好仁会会議室は、東北大学松下会館や京都大学電気総合館内講堂のように立派なものではありませんこと、あらかじめお詫び致しておきます。学会会場には、国電お茶の水駅(神田寄りの聖橋の上)、あるいは上野駅から御徒町経由で東大構内に参ります都営学校バス(ワンマンバス)に乗車され、東大病院前で下車されれば歩く距離が少なくてすみます。料金は片道10円です。

今回の講演会は講演申込数が129件あり、従来の講演申込最高数(昨秋の111)がまたまた大巾に更新されました。このため5月24日及び26日両日午前中は二つの会場で講演を平行して行なうことに致しました。また会報第22号に添えてお知らせしました日時配分予定をやや変更させていただきましたところもございます。特に宇宙線関係者の方々には5月26日(木)午前中にお願ひすることになり、皆様方の御都合に支障を来したようなことがありませんでしたでしょうかと察じております。地球電磁気学の各分野に広く興味をお持ちになっておられます会員各位には、まことに申訳ないことではございますが、このようにパラレル・セッションを二回も設けさせていただかない限り、会員各位からの講演申込を限られた時間内におさめることは不可

能でしたので、御諒承下さるよう御願ひ申し上げます。プログラムを御覧になりましてお気付きの通り、上記のような異例な措置をとらせていただきましても、なお連日朝9時から夕方6時まで講演がぎっしりつめられております。

講演時間についてのお願い プログラムには皆様から御申出がありました通りの講演時間をそのまま記してあります。先に述べました通り、今回の講演会では時間の余裕がございませんので、皆様方が各自の講演時間内で質疑応答まで済みますように、御講演を申込時間の8割以内で終わられるよう予め御配慮しておいていただきたいと存じますので、よろしく御願ひ申し上げます。講演時間を短縮されるにあたりましては、皆様にさしあげてあります「論文執筆要綱」の末尾に記載してありますことなど御参考になりますかと存じます。

特別講演について 今回は、プログラムにあります通り、東大地震研究所長 萩原尊礼教授と、京大理学部 長谷川博一教授に特別講演をお引受けいただきました。萩原震研所長には北信地震で御多忙のところ特に御都合をつけていただきました。

講演会場への電話連絡について 好仁会内講演会場（5月23日、24日、25日、及び26日午前中）に、急用にて外部から連絡をとられる場合には、東京大学 812-2111、内線5351番におかけさせ下さい。その電話は3階の講演会場入口にありますので御呼出し致します。5月26日に使います薬学部記念講堂内での講演会参加者に連絡する場合には、東大内線4337番（隣室の会議室）を御利用下さいとのことです。

昼食について 好仁会建物内には2階に食堂、1階には喫茶部があり、また近くの東大病院内や医学部総合中央館地階にも食堂・喫茶室がありますので御利用下さい。

懇親会 5月25日（水）18時より学会懇親会を開きます。会場は東京大学の三田郎池のほとりにあります山上会議所です。今回は生ビールをたくさん飲んでいただけるよう計画し、また食物も豊富に取揃えて皆様のおいでをお待ちしております。会費は僅か500円です。講演会の日程がぎっしりつまっております関係上、折角の機会でありながら十分な質疑応答をしていただく時間的余裕が講演会の時間中にはございません場合も多いと思いますので、

懇親会でいろいろと御歓談されますことをおすすめ致します。

講演予稿 5月7日までに当方に届きました講演予稿はタイプ印刷して、講演会当日会場受付にて実費領布いたします。講演予稿未提出の方は、各自の御負担にてプリント150部を作られて当日会場受付に御提出下さい。なお講演予稿のサイズはなるべくB5版（講演予稿集と同じサイズ）をお願い致します。

講演会および総会につきまして、御質問または御注文などございます場合には、東京大学理学部地球物理 福島 直（電話内線7511）または小口 高（内線4321）あてにあらかじめ御連絡下さるようお願い申し上げます。

長谷川記念杯内規

長谷川万吉名誉会員の寄附金に基いて長谷川記念杯のほう賞制を設けましたことは既に昨秋京都に於ける第38回総会及び会報22号でお報せした通りであります。去る2月17日の運営委員会に於てこれに関する内規を次の様に決めました。

長谷川記念杯内規（昭和41年2月17日制定）

- 第1条 日本地球電気磁気学会長谷川記念杯は地球電磁気学界に顕著な功勞のあった会員に贈りその業績を表彰する。
- 第2条 受賞者は次の各項の手續を経て決定する。
- (一) 受賞候補者は運営委員会によって推薦する。
 - (二) 受賞者の決定は評議員会の議決による。

委員長代理について

従来委員長が、主として海外出張等の事由のため一時的にその任務（学会を代表し会務を総括する）を遂行する上に支障を来たすことがありました。そこで前期の運営委員会以来色々とその対策を考慮して来ましたが、会則の一部を改正して委員長代理を設けたいという結論に達しました。ついでには5月の第39回総会に次の会則改正案を議題として提出し、出席者の $\frac{2}{3}$ 以上の賛成を得たいと思っておりますので事情御賢察の上是非総会に御出席され御賛成下さる様お願い致します。

会則改正案

第10条 委員長は本会を代表し会務を総括する。但し委員長に事故ある時は内規の定めるところに従って委員長代理をおく。(下線部を従来の第10条を附加する)

若しこの会則改正案が認められた場合にはこれに伴う内規として内規(既制)の第1条に次の第六項を追加する予定であります。

内規改正案

第1条 第六項(追加) 委員長代理は委員長が指名し、運営委員会に承認を求める。

学術会議地球物理学研究連絡委員会

地球電磁気分科会委員の推薦について

次期委員候補者の推薦方を同分科会幹事から依頼されましたが、全会員におはかりする時間的余裕がありませんでしたので、委員長、評議員、及び運営委員により、会員の中から10名連記の投票を行い、得票順に10名の候補者を推薦致しました。その方々は次の通りであります。(敬称略)

永田 武、加藤愛雄、関戸弥太郎、前田憲一、力武常次、田村雄一、大林辰蔵、福島 直、太田枉次郎、平尾邦雄

新入会員のおしらせ

会報22号以来次の方々が新たに本学会に入会されました。

藤原嘉樹

北大 地質鉱物

安井 正

舞鶴海洋気象台

C.S. Gromme

U.S. Geological Survey (U.S.A.)

A.T Price

University of Exeter (U.K.)

G.T Inouye

TRW System Inc (U.S.A.)

I.K Reddy

University of Alberta (Canada)

P.J Smith

Liverpool University (U.K.)

第39回総会に御出席を願います

今会の総会には前記の通り会則の一部改正案が議題として予定されておりますが、毎年春にはその年度の予算案を審議し承認を経なければなりません。このような次第ですから、総会を成立させるために奮って御出席下さい。万一御出席の御都合がつかない場合は是非委任状を出席会員に託されるようお願い致します。

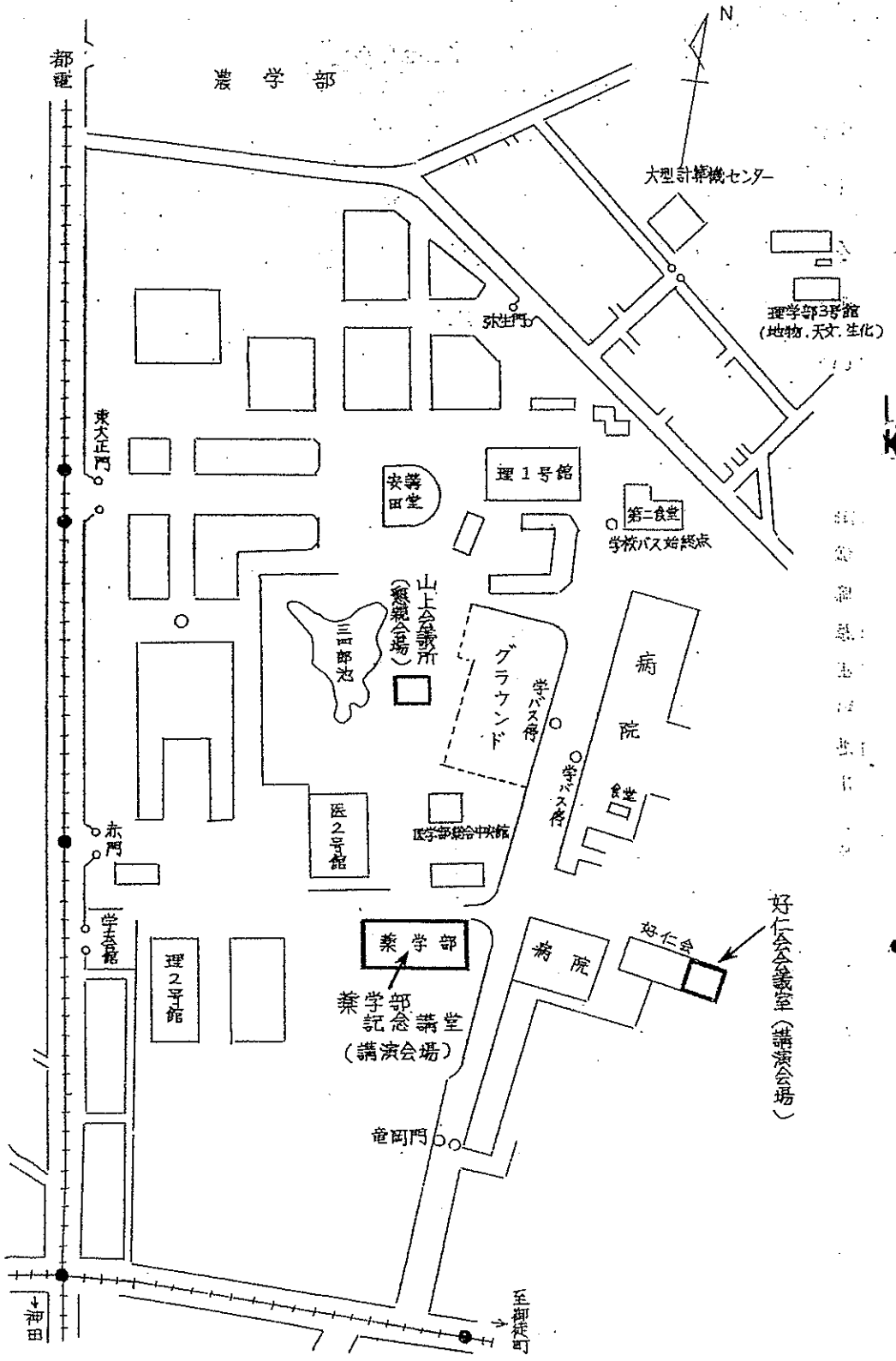
会員移動通知

会員氏名(敬称略)	新所属	旧所属
吉松隆三郎	東京理科大学(野田校舎)	地磁気観測所
高柳 和夫	東大宇宙航空研究所	埼玉大学
村瀬 勉	職業訓練大学校(東京都小平市)	北大理、地物
徳田八郎衛	防衛庁技術研究本部第1研究所	京大理、地物
佐野 幸三	地磁気観測所女満別出張所	柿岡地磁気観測所
菊池 繁雄	網走地方気象台	長崎海洋気象台
並川 富一	阪市大理、物理学教室	阪市大理、地学教室

以上は学会事務所に於て分っております所属変更ですが、皆様への通知発送宛名に間違いがあります場合には、学会事務所に御注意下さるようお願いいたします。

プログラム誤植訂正

ここにお届けしておりますプログラムの中で、次のような訂正を致します。講演番号100の講演者名を 乗審一雄・河辺吉範(秋田大鉾山)とする。古地磁気・岩石磁気の時間が(13.00-17.30)と書かれてありますのを(1300-1800)とし、於第2会場は於薬学部記念講堂の誤りです。



好仁会会談室
 (講演会場)